

# 第259回 岐阜県病院薬剤師会研修会 学術講演会のご案内

謹啓

早春の候、先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、この度平成23年度岐阜県病院薬剤師会総会の後、学術講演会を開催させていただき運びとなりました。ご多忙中誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

日時 : 平成23年4月9日(土) 16:00~17:30

場所 : 長良川国際会議場 4階 大会議室

岐阜県長良福光2695-2 Tel 058-296-1200

■情報提供 16:00~16:30

『カデュエット配合錠について』

ファイザー株式会社

■特別講演 16:30~17:30

座長: 岐阜県総合医療センター 薬剤部長 遠藤秀治 先生

『糖尿病性腎症の最新の治療』

演者: 朝日大学歯学部附属病院村上記念病院腎臓内科 教授

大橋 宏重 先生

\*当研修会は岐阜県病院薬剤師会研修制度及び日本薬剤師研修センター研修制度に該当する研修会です。

\*当日は軽食の用意が来ております。

共催 岐阜県病院薬剤師会

ファイザー株式会社

## 糖尿病性腎症の最新の治療

大橋宏重

糖尿病性腎症による透析導入患者は年々増加の一途をたどり、現在では導入原疾患の第一位を占めている。また、糖尿病性腎症の治療目標が、発症/進展阻止から remission/regression へと変化し、集約的治療の重要性が指摘されるようになった。具体的には糖尿病性腎症と診断された症例に対しては、(1)HbA1c<6.5%を目標にした血糖コントロール、(2)アルブミン尿/蛋白尿を減少させるレニン・アンジオテンシン系(RAS)阻害薬の積極的な使用、(3)BP<130/80mmHgをめざした血圧管理が重要である。

糖尿病性腎症は、①高血糖に起因する代謝異常、②腎内血行動態の変化である糸球体高血圧=糸球体過剰濾過で発症し、進展する。予防と治療の基本的な考え方は、この2つの機序を制御することにはかならない。

したがって、予防と治療の原則は、食事療法・運動療法による生活習慣の改善に加えて、1) 厳格な血糖管理、2)ACE 阻害薬、ARB、抗アルドステロン薬、直接レニン阻害薬の投与、3)脂質代謝などの他の代謝異常の是正である。